

【Course Aim】

- 1) 場面、相手、目的、内容にあった適切な表現で人と会話ができるようになる。
- 2) フォーマル・インフォーマルな場面で、自分の意見を述べたり、他の人との意見を調整したりしながら話し合うことができる。

【Contents of Course】

- ① 日常生活のタスクを取り上げ、どのように達成すればいいか考え、体験する。
- ② 日本語のフォーマル・インフォーマルな場面で、目的の異なるディスカッションを行う。
ディスカッションを通して、どうすれば自分の意見・質問・応答が積極的かつ効果的にできるかを考える。また、その準備を通して物事を多角的に見る力を養成することも目指す。
(* トピックは、学生の興味があるものを、相談の上決めるようにしたい)

【Course Schedule】

【第1回】シラバス説明

自分について話す①

【第2回】自分について話す②

【第3回】日常会話(詳しく説明する①)

【第4回】日常会話(詳しく説明する②)

【第5回】ディスカッション1 (インバケット形式)①

【第6回】ディスカッション1 (インバケット形式)②

【第7回】ディスカッションにむけて

ディスカッション2 (フリートーク形式)① テーマを決める

【第8回】ディスカッション2 (フリートーク形式)② ディスカッションに向けての準備

【第9回】ディスカッション2 (フリートーク形式)③ ディスカッションに向けての準備

【第10回】ディスカッション2 (フリートーク形式)④ 日本人学生とディスカッション

【発表 振り返り】

【第11回】ディスカッション3 (ケーススタディー形式)①

【第12回】ディスカッション4 (ケーススタディー形式)②

【第13回】ディスカッション4 (ケーススタディー形式)③

【第14回】ディスカッション4 (ケーススタディー形式)【発表 振り返り】

【第15回】まとめ

* 前期・後期ではトピックが異なる。

【Preparation / Advice】

教室での活動以外に、各自の課題のための準備の時間(調べ物をする・練習するなど)が必要である。自分の課題に関する教師からのフィードバックを確認し、変更・訂正などを行う。発表について自己評価をする。

【Texts】

授業時に適宜ハンドアウトを配布する

【Reference】

クラスで適宜指示する

【Grading】

授業参加度 10% 授業参加態度(ほかの人の評価も含む) 10%

課題 70%

最終インタビュー 10%

(授業の欠席が全体の1/3を超える場合単位は与えられない)

【Other】

授業内でも、各自が自律的に進めていく姿勢が求められる。出席しているだけでは、何も進まない。③グループワークでは、それぞれが責任を持って協力しあうこと。

実践日本語1-2、2-2を1年通して履修する学生がいる場合は、学生のレベルによって授業内容を考慮する。